



# 第3回「(仮称)青森県DX推進プラン」策定委員会

令和5年7月26日(水)10:00~12:00

県庁南棟2階中会議室

## 次第

1. 開会

2. 議事

(仮称)青森県DX推進プランの素案(案)についての意見交換

3. 閉会

## 出席者

### 【委員】

| 職 名              | 氏 名                              |
|------------------|----------------------------------|
| 池田 右文            | 株式会社池田介護研究所代表                    |
| 石井 重成            | 青森大学 社会学部准教授                     |
| 石澤 諒             | あおもり創生パートナーズ経営サポート部              |
| 加藤 夢人<br>(オンライン) | 株式会社寅福プラント代表取締役                  |
| 佐藤 志穂            | 株式会社LX DESIGN社長室 CYO             |
| 立花 拓也            | 株式会社ヘプタゴン代表取締役                   |
| 舘田 あゆみ           | 東北大学大学院工学研究科 情報知能システム研究センター 特任教授 |
| 本田 政邦            | NPO法人青森IT活用サポートセンター(AOIT)理事長     |
| 森 樹男             | 弘前大学副理事(社会連携担当)人文社会学部 教授         |
| 森本 登志男           | キャリアシフト株式会社代表取締役                 |
| 山内 和彦<br>(オンライン) | 株式会社スプラウトジャパン代表取締役社長             |
| 蕨 加奈子            | 合同会社浜と山と代表                       |

素案(案)  
(2023.7)

事務局修正案

(仮称)

# 青森県DX推進プラン

青森県はDXでもっとおもしろくなる 2024-2028

青 森 県



|      |  |      |
|------|--|------|
| ● 01 | 青森県が取り組むDX<br>基本理念<br>プランについて<br>DXを進める際の基本姿勢<br>重点的に取り組む3つのDX | …P1  |
| ● 02 | 現状と課題<br>なぜ今DXが必要なのか<br>国のこれまでの歩み<br>本県の動向                     | …P5  |
| ● 03 | <b>取組の体系</b>   | …P11 |
| ● 04 | 取り組むべき3つの分野<br>各分野の基本方針<br>めざすべき社会像と取組方針                       | …P12 |
| ● 05 | 各分野を支える基盤整備  | …P21 |
| ● 06 | 推進体制   | …P22 |
| ● 07 | 資料等  | …P   |

素案(案)  
(2023.7)

事務局修正案

青森県はDXでもっとおもしろくなる

## 基本理念“青森県はDXでもっとおもしろくなる”に込めた思い

新たなしごとや働き方で、**産業を未来にへ紡ぐ**。【修正】

人と人がつながり、豊かさと安心を築く。

日々**わくわく**する青森県を目指し、県民とともにDXを推進します。

(別案)新たなしごとが生み出されるとともに、場所や時間をはじめとした様々な制約に捉われない自由度の高い働き方も定着します。

DXを推進することにより、新たなしごとが生み出され、場所【修正】や時間に捉われない働き方も定着します。これにより本県の産業はたゆむことなく未来へと紡がれていきます。

いかにDXが進進しようとも、人と人とのつながりは欠かすことができません。【修正】だからこそ、デジタル技術を活用しながら、これまで以上に相互に見守り合い、支え合い、助け合うこと。それにより豊かさと安心が築かれていきます。

県民が、「この地に暮らしてよかった」「次はどんな新しいことが待っているのだろう」とわくわくするような社会。そんな「もっとおもしろくなる」青森県をめざしたい、という思いを込めて、県のみならず、県民や事業者、国や市町村など各主体とともにDXを推進していく必要があります。

## 位置づけ

- あらゆる分野においてDXを推進するための官民全体で共有すべき指針
- 「青森県基本計画」及び「行財政改革大綱」に基づき、各分野におけるDX関連施策の取組を加速化させるための個別計画（アクションプラン）
- 「官民データ活用推進基本法」に基づく「都道府県データ活用推進計画」

## 期間

2024（令和6）年度から2028（令和10）年度の5年間

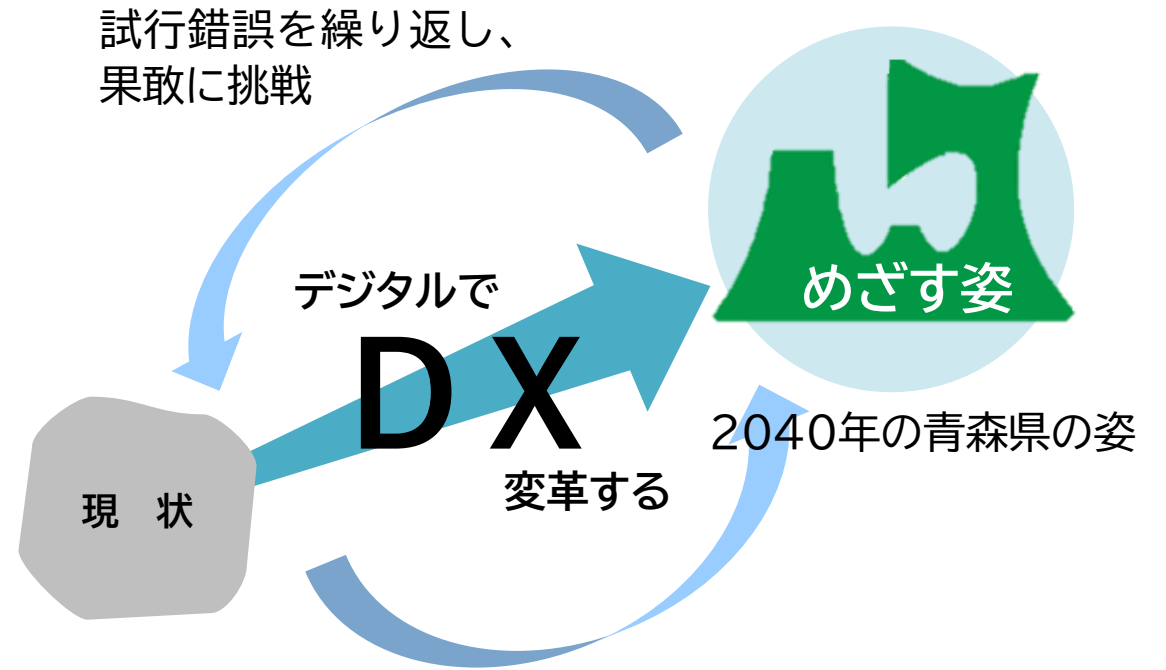
本プランでは、デジタルのフェーズが進んでいくこと[デジタイゼーション→デジタルイゼーション]をデジタル化、それらを経て新たなビジネスモデルや仕組みの変革をもたらすものをDXとしています。

## めざす姿の実現に向けて“**変革**”を重視

デジタル技術の活用は手段の一つであり、目的ではない。デジタル技術を活用して、どのように変革し、めざす姿を実現していくかが重要である。

## 失敗を恐れず果敢に“**挑戦**”する

【修正】失敗を恐れて何もしないことこそが最大の失敗である。デジタル技術の進展、社会情勢の変化にスピード感をもって挑戦し、試行錯誤を繰り返しながら、身近な成功事例を積み重ね【修正】、**広げていくことが重要である。成功の反対は失敗ではない、何もしないことである。**



めざす姿の実現にむけた取組を着実に進めていくために、各取組の工程を「ロードマップ」として“見える化”させ、柔軟に見直し・改善を図りながら、確実に取組を進める（概ね半期ごとに見直す）。





## 防災のDX

- 県民一人ひとりにカスタマイズしたオンタイムの防災情報をスマートフォンなどそれぞれに応じたデジタル端末で入手できるシステムの導入
- ドローンやAIの活用した、道路・橋梁・堤防などのきめ細やかな点検



## 産業のDX

- 事業者とDXを支えるパートナーとのマッチング
- デジタルツール導入による省力化、効率化や技術のデジタル化、見える化による技術・事業の継承
- オンライン商談会やECによる販路拡大、デジタルマーケティングなどターゲットに合わせたアプローチによる販路開拓



## 教育のDX

- 教職員のICTリテラシーの向上
- ICT教育サポーターなどの外部人材の活用と授業や校務のICT化による働き方改革
- 対面と遠隔・オンライン学習の最適化により、個別最適な学習が可能となる仕組みづくり

# なぜ今DXが必要か

## デジタル化の加速等による社会経済環境の変化

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により日常生活や経済活動に大きな変化
- **【追加】生成AIをはじめとする人工知能(AI)の社会への浸透**

デジタル化の加速度的な進展

- 超高齢社会にあって、生産年齢人口が減少する中でも住民サービスの維持や経済成長の実現に取り組む必要
- デジタル技術の活用による労働生産性の向上や効率化**【追加】、新しいビジネスモデル、創業・起業のチャンス**

変革のチャンス

- 企業の既存システムを更新しなければ2025年以降、社会全体で最大12兆円/年の経済損失が生じる可能性

2025年の崖

## DXが持つ可能性

➔【修正】新しい時代を生き抜いていくための教育の推進



## | 国のこれまでの歩み

素案(案)  
(2023.7)

事務局修正案



(出典:デジタル庁「第1回デジタル社会推進会議」(令和3年9月)の参考資料1に、令和3年度以降の動向等を県DX推進課が追記して作成)

## 本県の動向

### 人口減少と少子化・高齢化の進展

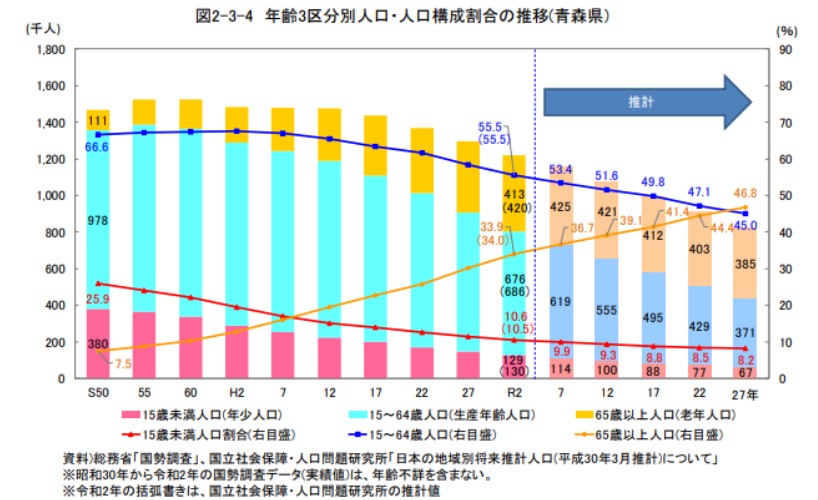
- 国内需要の減少による経済規模の縮小や労働力不足、医療・介護費の負担増などをもたらし、様々な社会的・経済的な課題が深刻化するとされている。

### 慢性的な人材不足

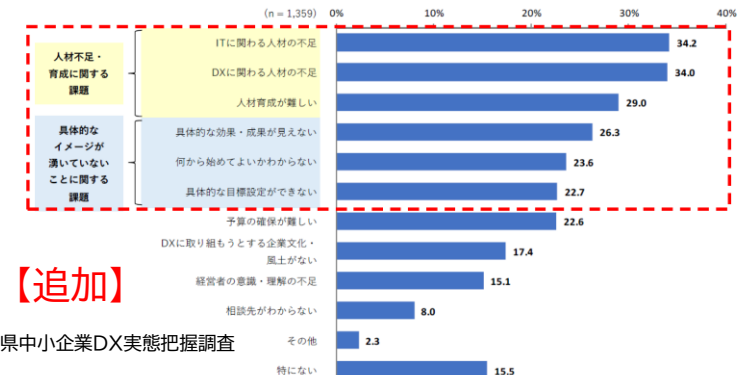
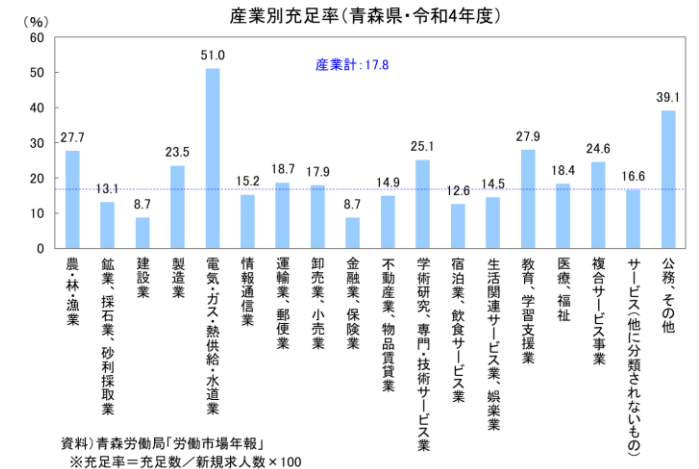
- 2022年度の充足率(充足数/新規求人数×100)を産業別にみると、「建設業」、「金融業、保険業」(共に8.7%)、「宿泊業、飲食サービス業」(12.6%)の順に低くなっている。
- 産業全体の充足率は、年々、緩やかに低下している。(2010年:45.8%→2022年:17.8%)
- 【追加】**県内企業においても、DX推進する際の課題として IT 人材、DX 人材の不足が上位に挙がっている。

## 素案(案) (2023.7)

事務局修正案



(青森県社会経済白書(令和4年度版))



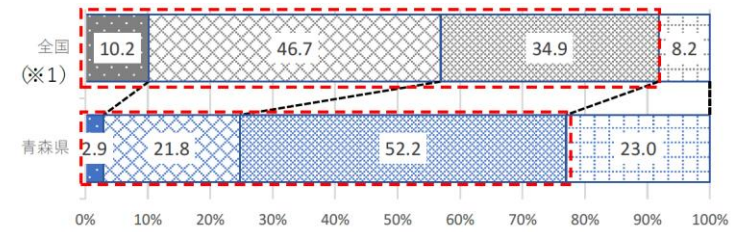
## 本県の動向

## 中小企業の状況

- DXの必要性を認識している中小企業の割合は全国より高いが、実際にデジタル化に取り組んでいる中小企業の割合は全国より低い。  
 [ デジタル化に取り組んでいる割合76.9%(全国91.8%)  
 DXの必要性を認識している割合77.4%(全国58.9%) ]
- 取り組む主な理由・目的は、「業務効率化」、「働き方改革への対応」、「競争力の強化」が高い割合。
- 推進にあたっての課題については、「人材不足・育成」、「具体的なイメージがわいていない」が多い。

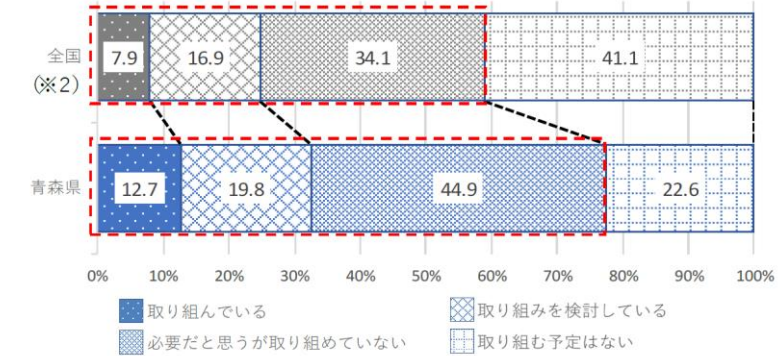
## 労働生産性

- 全国の一人当たりの労働生産性が増加傾向にあることに対し、本県は2015年度以降下降しており、全国との差が拡大している。

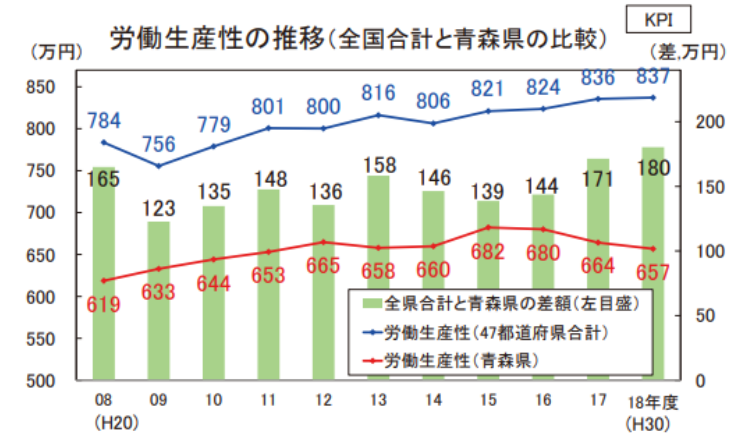


■ デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力強化に取り組んでいる状態  
 ■ デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態  
 ■ アナログな状況からデジタルツールを利用した業務環境に移行している状態  
 ■ デジタル化が図られていない

※1 「2022年版中小企業白書(中小企業庁)」から引用



※2 「中小企業のDX推進に関する調査(令和4年5月中小機構)」から引用



資料:内閣府「県民経済計算」(平成18年度 - 平成30年度)(2008SNA、平成23年基準計数)

## 本県の動向

## 医療・福祉

- 国が示した本県の医師偏在指数は、173.6と全国平均239.8を大きく下回り、医師少数県とされている。
- 二次医療圏別でも、津軽地域及び青森地域を除き、4地域が医師少数区域とされている。



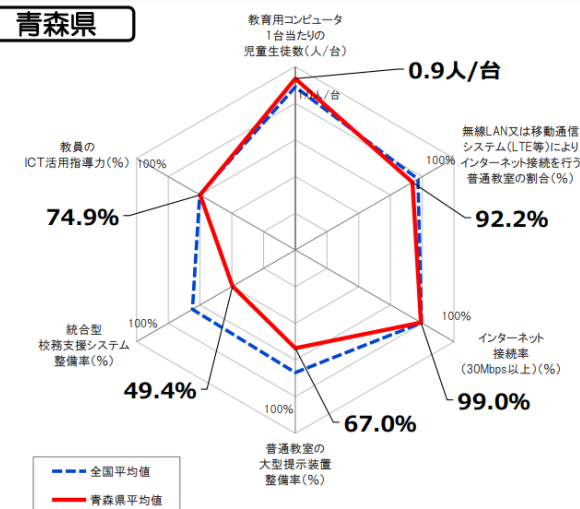
※ 青森県医師確保計画  
(2020年3月策定、計画期間2020～2023年度)より

## 学校の端末整備

- 国のGIGAスクール構想を踏まえ、県立学校において、児童生徒一人1台の情報端末の整備が進んでいる。
- 小・中学校でも、急速に整備が進み、ほぼ児童生徒一人1台のコンピュータが行き渡っている。
- 一方で、統合型校務支援システムの整備率は49.4%と全国平均81.0%を大きく下回っている。

※「統合型校務支援システム」とは、教務系(成績処理、出欠管理、時数管理等)、保健系(健康診断票、保健室入室管理等)、学籍系(指導要録等)、学校事務系などを統合した機能を有しているシステム

## 青森県

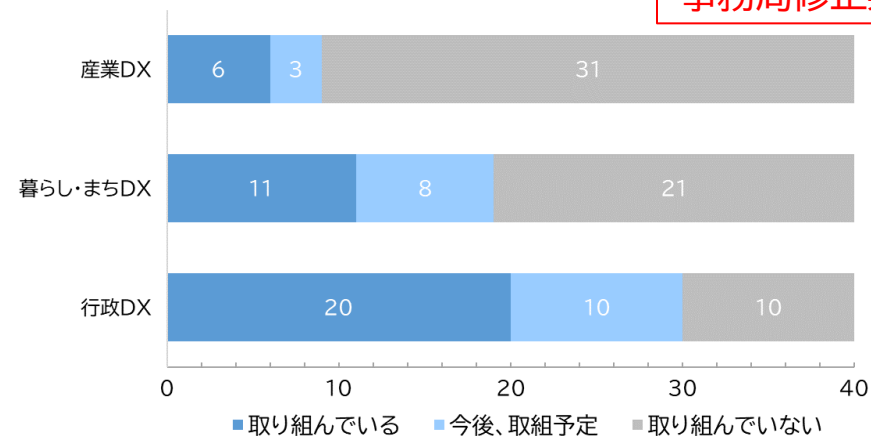


(令和3年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査(令和4年3月現在))

## 本県の動向

## 市町村の状況

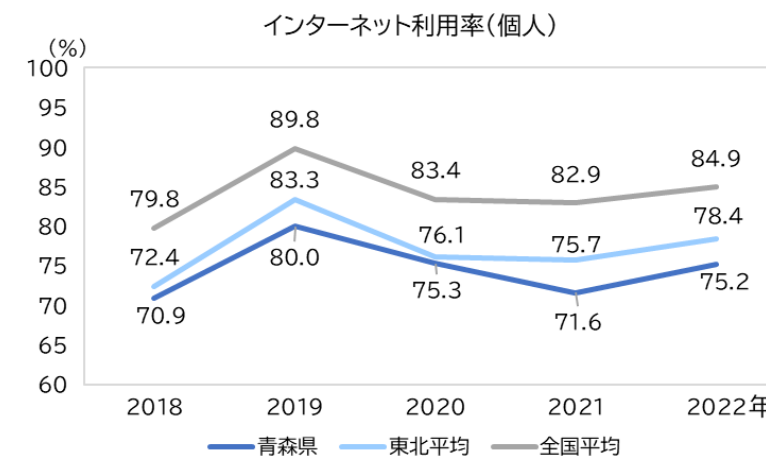
- 産業DXは6自治体、暮らし・まちDXは11自治体、行政DXは20自治体の自治体に取り組んでいる。
- 主な取組事例は、RPAの導入、証明書のコンビニ交付、母子手帳アプリの導入など。
- 取り組んだ主なきっかけは、上層部からの指示や検討会などの結果、他団体の参考事例があったからなど。
- 取り組んでいない主な理由は、人材不足や何から始めてよいかわからないなど。



(DXの推進に関する市町村アンケート  
(県企画調整課 令和5年2月))

## 情報通信基盤の整備

- 本県の光ファイバ整備率(世帯のカバー率)99.98%とほぼ全世界帯で光ファイバが整備されている。(全国平均99.72%)
- 5G人口カバー率89.5%と全国平均を下回っている。  
(全国平均93.2%)
- インターネット利用率やスマートフォン保有率は全国と格差。  
 [ インターネット利用率75.2%(全国平均84.9%)  
 スマートフォン保有率66.7%(全国平均83.6%) ]



(通信利用動向調査)



### 「産業・しごと」を支えるDX

#### 産業・しごと分野

商工業・サービス業

観光業

農林水産業

働き方



### 「暮らし・まち」を支えるDX

#### 暮らし・まち分野

医療・福祉

安全・安心

子育て

防災・危機管理

学校教育

インフラ

地域公共交通



### 「行政経営」を支えるDX

#### 行政経営分野

住民の利便性の向上

情報セキュリティ対策

質の高い自治体運営

#### 各分野を支える基盤整備



デジタル人材



データの利活用



誰でも安全・安心に使えるデジタル



デジタル基盤の整備

【体系図  
を追加】



## 「産業・しごと」を支えるDX



## 「暮らし・まち」を支えるDX



## 「行政経営」を支えるDX

素案(案)  
(2023. 7)

事務局修正案

## 産業・しごと分野

【修正（文章の構成見直し）】産業・しごと両面からの視点でDXを推進し、様々な変革を契機とした新たなビジネスモデルの創出や創業・起業への挑戦を支援するとともに、労働力人口の減少に伴う生産力の低下や多様な働き方への対応の遅れなど様々な課題の解決に取り組む。

## 暮らし・まち分野

【修正（文章の構成見直し）】住民目線でのDXを推進し、県民のニーズを把握するとともに、その実現に向けた生活サービスの提供体制の構築や、必要かつながりを維持できる環境づくり、過疎化や高齢化の進展に伴い生じる多くの地域課題の解決に取り組む。

## 行政経営分野

【修正（文章の構成見直し）】デジタル技術を活用し、複雑化・高度化する行政課題の解決に向けて、持続可能かつ効率的であり、地域全体として最適化された行政サービスの実現に取り組む。特に行政経営分野においては、DXの推進により、産業・しごと分野や暮らし・まち分野のDXを実現するための下支えをする。



## 産業・しごと分野

- ・ビッグデータ等の活用や様々な変革により、新たなビジネスモデルや本県ならではの事業が創出されている社会。
- ・あらゆる産業分野でデジタル技術の活用が進み、生産効率や付加価値がさらに向上するなど  
**【移動】身近なDX事例が創出され、さまざまな変革とともに、多様な働き方が実現している社会。**

### 商工業・サービス業

新たなデジタル技術を積極的に取り入れながら、人と人の強い繋がりを生かして、魅力的な仕事に挑戦する人が増え、新たな価値を生み出していく地域

★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|   |            |
|---|------------|
| 中小企業の新しい分野や補助金などの情報をキャッチする力、好奇心を高める必要がある                        | 追加①        |
| 地場のIT企業が、最先端を取り入れるマインドを持つことやAIなどの先端のデジタル技術を使えるレベルへ上げていくことが重要である | 追加②        |
| 県内のIT企業数が少なく、いま以上の連携を進めても、現状以上の効果はでないのではないか                     | 削除①        |
| 身近な成功事例があると横並びで広がっていくので効果的                                      | 第1章基本姿勢に追加 |

事務局修正案

素案(案)  
(2023.7)

- ・ デジタル技術を活用した革新的なビジネスモデルの展開や起業・創業、新分野への参入への支援や意識醸成**【追加①】**
- ・ 中小企業のデジタル化による生産性の向上と経営基盤の強化
- ・ **【追加②】県内のIT事業者の強化**
- ・ IT関連事業者とのマッチングによる中小企業の課題解決力の向上
- ・ **【削除①】 県内のIT事業者の連携の場づくり**
- ・ デジタル技術の活用による物流サービスの維持向上

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |

## 農林水産業

米、野菜、果実、肉、魚のバランスの良さを生かした全国屈指の食料供給地として、経験に基づいた技術が引き継がれ、新しい技術との融合による高い生産性が実現し【追加①】、農林水産業が若者にとって魅力的な産業となっている地域

## ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|   |     |
|---|-----|
| 農林水産業が、就職の選択肢となっているような姿に                                  | 追加① |
| 販路の拡大について追加してはどうか   | 追加② |
| 他県からみると、青森県といえはりんごとホタテのイメージが強い。「バランスの良さ」をいうのであれば、もっとPRが必要 |     |
| 青森県の気候や環境にあった優位性がある、次の作物を選択し、集中させる                        |     |
| 地域にあるポテンシャルを生かして、どうビジネス化をしてくか                             |     |
| 別の産業と掛け合わす、垣根をなくしてイノベーションを起こす                             |     |
| めざす姿に「デジタル技術」の要素を追加                                       |     |

- スマート農・林・畜・水産業の推進による効率化と生産性の向上(アグリテックの促進)
- データに基づいた生産体制の普及拡大
- ドローンやAIなどを活用した土地の管理
- デジタル技術を活用した鳥獣害被害対策
- 【追加②】オンライン商談会やECによる販路拡大、データに基づく戦略的な販路開拓

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |



## 産業・しごと分野

## 観光業

【修正①】・観光客一人ひとりが「体験したくなる」「誰かに教えたくなる」最適な観光資源やルートが提示され、全世界に向け新時代のあおもりツーリズムが実現している地域

【追加①】・世界中から青森ファンが集えるよう、翻訳対応、キャッシュレス化やネットアクセス環境などが整備され、多様な来訪者が不安なく滞在を楽しめる地域

- デジタル技術やデータ分析により、観光客のニーズにあった情報発信や利便性の向上
- オンライン手続き、キャッシュレス決済の促進による観光事業者の生産性の向上と収益の強化
- 【追加②】CRMの導入により、一人ひとりの興味・関心のある情報が届く体制の構築

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |

## ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|   |         |
|---|---------|
| めざす姿に、・DXの力により、青森の魅力が世界とシームレスにつながる/・DXによる高生産性の実現/・顧客ニーズに合わせた、DXによる立体的な最適アプローチの実現/・DXによる「多言語化」「無料Wi-Fi」「キャッシュレス化」「バリアフリー化」等強化の内容を盛り込み、取組方針は、めざす姿に対応するようなものにして、相関性を持たせる | 修正①・追加① |
| 観光資源ルートの提示と人との繋がりによる来たくなる地域は異なる次元では   | //      |
| 青森ファンの囲い込み(集める、作る、育てていく)について記載してはどうか  | 追加②     |
| 取組方針には、もっと先(未来)のことを書いた方がよいのでは   |         |
| 青森県の資源を活かしたアドベンチャーツーリズム。資源をどうやって使うかを考える   |         |

素案(案)  
(2023.7)

事務局修正案



## 産業・しごと分野

### 働き方

・距離を問わず、どこにいても、最先端の知識や技術に囲まれて、仕事も余暇も家庭生活も充実し、自分ならではの生き方が実現している地域

・【追加①】自分の価値を磨き上げ、稼ぎを生む付加価値の高い仕事ができ、青森で働いていることを誇れる地域

★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|  |     |
|--|-----|
| 稼いでいくことが非常に重要。青森で働いていることが周りから見ても、格好良いと思えるような地域になると良い | 追加① |
| 自分の価値を高めていくこと、また、そういう人を受け入れるような地域になると良い              | 修正① |
| リモートワークを進めるには、会社側のいまの業務のやり方を変える、環境整備がまず先では           | 修正② |
| リモートワーク拠点の整備は青森の実態に合っていない                            | 削除① |
| 高齢者の就業は介護予防につながるので、高齢者が気軽に働ける機会を作る                   | 追加② |
| 時短、効率性についての記述  |     |

- ・【修正①】新しい分野に挑戦する人、スキルアップ、自分の価値を高めることを目指す人のリスクリングの促進
- ・【修正②】企業のみならず、官公庁やフリーランスも含めたテレワーク・リモートワークの促進や環境整備に向けた支援【修正】
- ・【削除①】リモートワーク拠点の整備などの多様な働き方の促進
- ・【追加②】高齢者の生活スタイルや体力に合わせて気軽に仕事ができるマッチング等の仕組みの構築

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |



## 暮らし・まち分野

- ・県民一人ひとりが、自分に合った生活サービスを受けられるとともに、【追加】地域のコミュニティや見守りなど必要なつながりが保たれ安心して生活できる社会。
- ・距離や時間、場所などの制約を受けることなく、誰もが自分らしくいきいきと活躍できる社会。
- ・日常生活においても、災害発生時においても、自分の身を守るために、必要な情報が取得でき、安全に暮らせる社会。

事務局修正案

素案(案)  
(2023.7)

## 医療・福祉

県民一人ひとりの健康づくりや疾病予防、社会活動をデジタル技術を活用して支えている持続可能な地域

県民が住み慣れた地域で、必要な医療・介護サービスが受けられるよう、デジタル技術を活用して業務効率化や連携体制構築を実現している持続可能な地域

- ・ 自身の健康・医療の情報の活用等により健康づくり等に取り組む環境づくり
- ・ 高齢者の見守りや介護予防の充実
- ・ 医療・介護現場の業務省力化・効率化
- ・ 広域な医療連携体制、医療介護連携体制の構築

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |

### ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 必要なつながりについて、何を指しているのか | 追加 |
| 遠隔医療についての記述の追加        |    |
| 山間部の医療体制を考えていく必要がある   |    |



## 暮らし・まち分野



それぞれの家庭の状況に応じて、さまざまなサポートを受けることができ、子育ての不安や負担が軽減され、働き方・暮らし方に合わせて、子育てを楽しむことができる地域

## ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|                    |    |
|--------------------|----|
| めざす姿にDXの観点をいれてはどうか |    |
| PTA活動も負担軽減等が必要     | 追加 |

- 子どもに関する各種手続きの利便性の向上や情報収集の負担軽減
- 子育てについて、誰でも、いつでも、どこにいても、簡単に相談できる体制やコミュニティーへ参加できる仕組みづくり
- 【追加】デジタル技術を活用したPTA活動の負担軽減・効率化

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |



## 暮らし・まち分野



## 学校教育

児童・生徒一人ひとりに応じた最適な教育が提供され、教員が児童・生徒の主体的・対話的で深い学びをサポートできる学校

## ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|   |    |
|---|----|
| めざす姿にDXの観点を入れてはどうか                                |    |
| 親世代のリテラシー向上が必要                                    | 追加 |
| 2040年の教育のあり方、子供のあり方、学びのあり方を考え、DXでどう変革をするかを考えてはどうか |    |

- デジタル技術を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- I C Tを活用した学習・交流活動の充実、異文化理解の促進、グローバル人財の育成
- 校務のデジタル化の推進による教員が子どもたちに向き合う時間の拡充
- 【追加】児童・生徒が安全かつ効果的に情報端末を使用するために、親世代のリテラシーの向上

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |





## 暮らし・まち分野

事務局修正案

素案(案)  
(2023.7)

## 地域公共交通

子供・お年寄りなど移動手段を持たない方や、外国人を含めた観光客など初めて本県を訪れる方でも、時間や場所、言葉を気にせず、自由に安全にどこへでも手軽に移動することができる地域

- デジタル技術を活用した地域のニーズにあった持続可能な交通網の整備
- 誰にとっても分かりやすい交通情報の提供
- 【追加】地域交通MaasやAIを使ったオンデマンド交通など一人ひとりのニーズや各世代のデジタルスキルに合わせた新たな仕組みの検討

## ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| めざす姿にDXの観点を入れてはどうか            |    |
| 交通手段の確保には、「わくわく」の要素を入れることができる | 追加 |
| 高齢者の移動について追加しては               |    |

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |



## 暮らし・まち分野

事務局修正案

# 素案(案)

(2023.7)

### 安全・安心

プライバシーに配慮しながら、子どもや高齢者等が常に見守られ、実社会・インターネットのいずれの環境においても、すべての人が事件や事故に巻き込まれず、安全・安心が確保されている社会

- デジタル技術の活用やデータ分析による防犯や見守り体制の整備、事故の防止
- サイバー犯罪の未然防止に向けた取組

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |

#### ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| デジタルは、防災、日常生活の面からも高齢者が見守られるためのインフラ整備 |  |
|--------------------------------------|--|



## 暮らし・まち分野

事務局修正案

# 素案(案)

(2023.7)

### 防災・危機管理

地震、大雨などの災害が起きたとき、県民一人ひとりが命を守る行動をとることができるよう必要な情報を適切に入手し、迅速に避難等の適切な行動につなげることができる社会

- 既存のシステムを活用しつつ、県民一人ひとりに必要な情報発信と県民がその情報にアクセスできる体制の充実
- 最適化された災害物資の数量や人的支援の必要数などの情報共有による円滑な被災者受け入れ態勢の整備
- 地域防災を担う町内会等のデジタル技術を活用した負担軽減化、効率化による担い手確保

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |

### インフラ

経験と融合した新たなデジタル技術を活用し、インフラ計画の高度化に加え、建設現場の生産性向上により、正確で効率的にインフラマネジメントを行うことで安全に暮らせる地域

- 3D測量設計やICT工事などi-Constructionの推進によるインフラ建設の効率化と生産性向上
- ドローンやAIの活用により、道路・橋梁等のインフラをこまめにきめ細かく点検、早期に補修・改修

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |



## 行政経営分野

事務局修正案

素案(案)

(2023.7)

- ・【追加①】自らが積極的にデジタル技術の導入を進め、地域全体のDXの推進を牽引する意識を持っている自治体。
- ・行政手続等について、デジタル技術を活用し、効率化することにより、県民生活の利便性向上や県内産業のさらなる振興を進められるような政策分野に【追加②】人的資源を集中投資できている自治体。

★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|   |     |
|---|-----|
| 民間の働き方を支援するためには、行政側も民間へ負担を減らし、県内企業の効率化・省力化を進めることが重要 | 追加① |
| 空いた時間で丁寧に対応できる体制は？                                  | 追加② |

### 住民の利便性の向上

いつでも、どこでも、わかりやすく、短時間で、手軽に、必要な行政サービスを受けることができる

- ・ 行政手続きのオンライン化の推進
- ・ 公金収納のキャッシュレス化の推進

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |

### 質の高い自治体運営

デジタルで処理できる業務はすべてデジタル化され、職員一人ひとりの変革に向けたマインドを持ち続け、複雑化・高度化する行政課題に正面から向き合い、質の高い行政サービスを提供することができる自治体

- ・ 業務のデジタル化や業務プロセスの見直しによる効率化や生産性の向上
- ・ データに基づく施策立案
- ・ 自治体のデジタル人材の育成
- ・ 市町村のDX化の支援
- ・ 県・市町村の業務システムの標準化・共通化

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |



## 行政経営分野

事務局修正案

# 素案(案)

(2023.7)

### 情報セキュリティ対策

県民が安心して、さまざまな行政サービスを利用できる信頼性が高い環境が整備されている

- インターネットからの攻撃や情報流出等を防止し、マイナンバー制度を確実に運用するための庁内ネットワーク及び情報システムの強靱性の向上
- 県の情報セキュリティポリシーに基づく庁内情報システムへの監査などの実施

| KPI | 2023 | 2028 |
|-----|------|------|
|     |      |      |



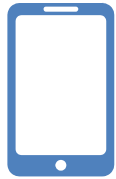
## デジタル人材

- ・業務工程を理解し、その変革について自ら考え、それをシステムとして具体化することができる専門性の高い人材の育成やUIJターンでの確保、外部のデジタル人材との連携などを進める。
- ・【追加】限られたデジタル人材を最適化して活用するための仕組みを構築する。
- ・働く人すべてがデジタルを理解し、それぞれの業務において、積極的に活用することができる。

### ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

デジタル人材不足は回復の兆しがなく、即戦力がある人材の奪い合いとなっている。方法として考えられるのは、新卒の育成、移民受け入れ、海外発注、育児が終わった女性をリスキリング、AIの活用など。外部の副業人材の活用(週数時間の勤務)、UIJターン(プロジェクト単位で、プロボノ的に関わる)などが現実的だと考える。

追加

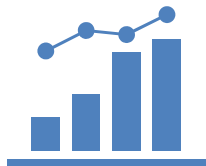


## 誰でも安全・安心に使えるデジタル

- ・誰もが早いスピードで進化するデジタル技術についての正しい知識を持ち、デジタル社会に取り残されず、不安を感じずに必要な時に必要な技術を使いこなすことができる。
- ・【修正】新しい技術を使いこなせない人も取り残されないよう、様々なサポートをする人材が育成され、お互いが支え合い、繋がりあう仕組みが構築されている。

### ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| サポート人材の育成も大事                       | 修正 |
| 使えない人への対応、使いなれたインターフェースできるような対応・工夫 |    |



## データの利活用

- ・データのオープンデータ化などにより、誰でも簡単にデータを活用でき、データを活用した県民生活の利便性の向上や新しいサービスが創出されている。
- ・【追加】行政においても、民間企業においても、データをきちんと把握、分析し、これに基づいた施策立案や経営判断により、有効性の高い施策や生産性が高いビジネスが実現されている。

### ★意見(事務局が聞き取りしたもの)

|                            |    |
|----------------------------|----|
| データをきちんと整理、経営判断に使うことを進めるべき | 追加 |
|----------------------------|----|



## デジタル基盤の整備

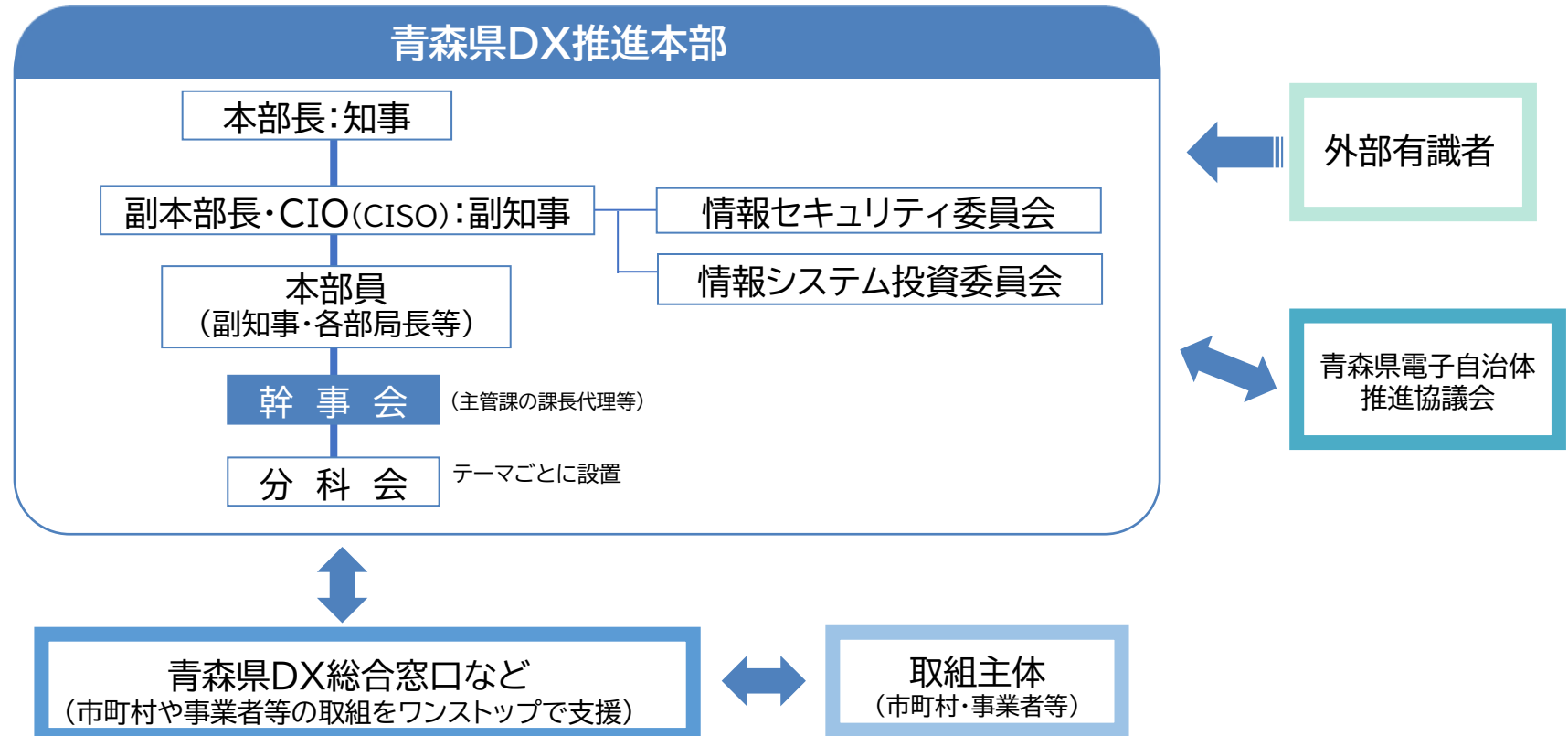
- ・信頼性が高いマイナンバーカードや公的個人認証サービスによって、日常生活が便利になっている。
- ・プランに掲げるめざす姿を実現するために欠かせない安定した情報通信基盤が整備されている。
- ・【削除】リモートワーク拠点が整備され、~~場所を問わず、自分のライフスタイルに合わせて働くことができる。~~(再掲) ※商工業・サービス業の取組方針の削除に伴い削除



本プランでは、知事を本部長、CIO(情報管理最高責任者)である副知事を副本部長、副知事・各部局長を本部員とする「青森県DX推進本部」のもと、部局を越えて連携し、全庁一丸となって強力かつ効果的に推進します。

また、推進にあたっては、外部有識者の意見を取り入れながら、「青森県電子自治体推進協議会」を通じて市町村と情報共有するとともに、「青森県DX総合窓口」により事業者等の取組を支援するなど、着実に取組を進めていきます。

さらに、毎年度の進捗状況をまとめ、青森県DX推進本部に報告します。



令和5年度DX関連事業について（76事業） ※ロードマップの作成に向け、参考までにR5事業をとりまとめたもの

■産業・しごと分野（33事業）

| 項目        | 事業数 |
|-----------|-----|
| 商工業・サービス業 | 9   |
| 農林水産業     | 17  |
| 観光業       | 3   |
| 働き方       | 3   |
| その他       | 1   |

【主な事業】

- デジタルトランスフォーメーション推進事業（ワンストップな支援体制を構築し、事業者のデジタル技術を活用した新ビジネス創出や経営革新を支援）
- デジタル技術活用によるあおもり米競争力強化事業（デジタルデータを駆使した指導強化や収益性の高い稲作経営を実践できる人材育成）
- DXによる青森ファン関係強化推進事業（「青森型CRM（顧客関係管理）」及び「青森ファンクラブ」の構築・運用）

■暮らし・まち分野（28事業）

| 項目      | 事業数 |
|---------|-----|
| 医療・福祉   | 11  |
| 子育て     | 1   |
| 学校教育    | 3   |
| 地域公共交通  | 2   |
| 安全・安心   | 3   |
| 防災・危機管理 | 1   |
| インフラ    | 4   |
| その他     | 3   |

【主な事業】

- PHRを活用した次世代型地域医療連携システム整備事業（患者自身による健康・医療情報の管理、医療連携等のシステム構築）
- スマートAomoriコンストラクション推進事業（全ての工程における3Dデータの活用を促進し、建設業の生産性の向上を図る）

■行政経営分野（15事業）

| 項目                 | 事業数 |
|--------------------|-----|
| 住民の利便性の向上          | 1   |
| 質の高い自治体運営          | 12  |
| 住民の利便性向上・質の高い自治体運営 | 2   |
| 情報セキュリティ対策         | -   |

【主な事業】

- 電子入札・電子収納導入調査事業（一部業務で実施されている電子入札・電子収納の拡充に向けた検討）
- 税務DX関連事業（手数料等のキャッシュレス化と税務システムの更新の検討）
- 公文書のデジタル化推進事業（ペーパーレス推進のための電子決裁や公印の電子化の検討）